

新城 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
新城	1	【安全・安心】 交通安全	コロナ禍において夜間で歩いている人がすごく増えてきましたが、服装が黒い服だったり灯りを持たない人が多く、ぶつかりそうになります。暗闇から話し声がすると道の横によけて通り過ぎるのを待つこともあります。反射板のついたタスキ等を着けてほしいです。	新城警察署と連携し、広報誌や防災行政無線等で反射材の必要性を伝えるなどの対応をします。(総務部長)
新城	2	【安全・安心】 防災対策	近年の台風の大型化により電柱が倒れる事例がしばしば発生するようになってきた。そのことに対し新城市はどのような対策を考えているのか。	電柱は中部電力の管理ですが、平成30年台風24号の接近に伴う影響により、市内の約87%が停電となり、停電時間も91時間2分という長時間に渡りました。災害対策本部では、被害報告を受け付けていましたが、「停電は何時に復旧するのか」といった内容の電話が多数入り、被害報告を受けるのに支障がありました。このため、中部電力とも打合せを行い、①停電時におけるコールセンターの人員を増強し、電話がつながる体制の整備、②速やかな設備復旧体制の構築、③中部電力との更なる情報連携を図ることとしています。(総務部長)
新城	3	【安全・安心】 避難所	市の災害時の避難所運営体制はどうなっているか。	避難所を開設した場合は、市職員2人を派遣しますが、災害規模によっては2人で賅えるレベルではなくなりません。このため、避難所に集まった方々等から構成する避難所運営委員会を立ち上げます。避難所運営委員会は、総務班、連絡・広報班、食料・物資班、保健・衛生班、要配慮者支援班、施設管理班、屋外支援班、ボランティア班で構成し、避難所の皆さんで協力して運営をしていただくこととなります。(総務部長)
新城	4	【安全・安心】 防災倉庫の設置	各区の防災用品はかなり整いました。しかし、防災訓練の時各集合場所まで運んでいる。災害時防災用品の運び出しは無理ではないかと思われるため、各集合場所(避難場所、避難所)にも防災倉庫が必要ではないか。	防災資機材については、各自主防災会が災害時に各地区で活動されることを想定し、各地区内に防災倉庫、資機材を整備していると思います。しかし、大規模災害時を想定し、防災倉庫の設置に係る法規制及び管理者の了解を得たうえで、各自主防災会が避難場所、避難所に防災倉庫を必要に応じ、補助金等を活用して整備することは可能だと思います。(総務部長)
新城	5	【安全・安心】 防災講習会	コロナ禍ではありましたが、昨年8月防災対策課課員を公民館に招いて講演会を実施し、出席者多数の声として、大変勉強になり安心をいただいた。こうした講習会講演会を積極的に各地区に働きかけ安全安心を植え付けていただきたい。	毎年、各地区等から要請があれば、出向いて防災講話を行っています。今後も、地区から要請があれば出向いて防災講話を行ってまいります。(総務部長)
新城	6	【安全・安心】 空地、空家の管理	地区内の民地において長期的に管理されていない土地が雑草に覆われ市道の通行を妨げたり、近隣住民に不快感を与える状況で区民からなんとかできないかとの問い合わせ。状況を確認し、近隣に確認したところ、地主は市外の方で、高齢で判断もできない状況とのことで、結果的に、地主と話ができず、無断で道路沿いの草刈りをした。このような所有者が管理できない土地について市に介入していただき、できることは区も行いたいと考えるが、良い対処方法はありますか。	市道の通行に影響のある場合は、土木課で対応できる場合もありますので土木課までへご連絡ください。(建設部長) 現在、しんしろ安全・安心で快適なまちづくり条例第9条に基づき、土地の所有者を調査し、当該所有地の適切な管理をお願いする依頼文書を送付しています。しかし、所有者が高齢等で管理できない土地への介入までは行っていないのが現状です。今後、こうした事例が多くなると想定されますので、対応について検討していきます。(総務部長)
新城	7	【安全・安心】 空家対策	各地域「空き家」が増えてきている。長期に空き家となっているため、かなり朽ちている家もあり、台風時の崩壊や不審火、付け火などの火災も心配である。空き家の場所や地主の考えなどの把握の状況は。	市では、空き家と思われる約千件の建物の所在を把握しています。その中で、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態と認められる107件の空き家については、空家等対策の推進に関する特別措置法に規定する「特定空家」に認定し、特定空家の所有者等に対して適正な管理を行うよう助言・指導をしています。また、空き家所有者等の考え方については、助言・指導に関する問合せや相談があった場合に記録を残しデータベース化して把握しています。(建設部長)
新城	8	【安全・安心】 防犯カメラ設置	犯罪抑止や犯罪発生時の立証／追跡について市の対策や考え方は。また地域自治区として何をすればよいか。新城駅付近には防犯カメラが設置されているが、地域自治区内主要箇所への設置の考えはあるか。	市では主要幹線交差点や駅前等に防犯カメラを設置しています。犯罪発生時には警察から防犯カメラの映像提供依頼がありますので、関係法に基づき迅速に提供を行います。地域自治区内主要箇所への防犯カメラ設置につきましては、市の補助金等をご活用いただき、設置をお願いします。(総務部長)
新城	9	【安全・安心】 街灯設置	市道入船線は夜間の照明が少なく暗いため、夜の歩行や健康のためのウォーキングが不安に感じる。市役所前から八幡信号交差点までの間に街灯を増設してもらえないか。	防犯灯については各行政区での設置及び管理をお願いしております。新規の設置及びLED灯への更新については平成26年度から補助事業を実施しておりますが、整備状況を考慮し今後数年以内に廃止することも検討していますので、各行政区においては計画的な整備をお願いします。(総務部長)
新城	10	【安全・安心】 道路整備	市道入船線から西入船線の南部住宅地へ入る道路は4～5本あるが、とても狭く車で入り込める場所は2本(不二家からと法務局前から)しかない。しかもすれ違いが困難であり工事車両や宅配トラックも通行する。住居地域のため道路拡幅も難しい。過去に「豊川沿いで新城橋付近に抜けられる道路」の計画があったと聞いているが、計画は消えてしまったのか。	現在、具体的な計画はありません。(建設部長)
新城	11	【安全・安心】 火災時の対応	西入船線南部は新しい住居が多く建設されている。道路が狭く火災時などの緊急車両が入れるのが心配。	消防署では、管内全ての道路調査(車両の進入可否)を実施しており、西入船地内についてはすでに調査を終了しております。西入船線南部地区は、消防署に配備してある消防車も救急車もおおむね進入が可能です。消防車が進入不可の場所はホースを延長して火災対応したり、救急車が進入不可の場所はストレッチャーで現場に向かいます。(消防長)

新城 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
新城	12	【安全・安心】 火災時の対応	住宅密集地で大規模火災が発生した場合の消火活動シミュレーションはできているか。また地域住民に対する緊急事態対策の広報が充実しているかが心配。	密集地については過去の教訓や、他市の類似症例等を踏まえ、訓練を実施しております。また、住民に対しては、車両での広報等で防火を促すと同時に住宅用火災警報器の設置、取り替えの啓発を実施しておりますが更に強化してまいります。(消防長)
新城	13	【安全・安心】 コロナ対策	コロナ感染者が今後増加すると思われるが、爆発的に増加した場合を想定しての市独自の対策は練られているか。	爆発的な増加が起らないように、広報・防災無線・ティーズ・ホームページ等を通じて基本的な感染症対策を周知していきます。あわせて市独自に医療・介護・福祉のサービスを提供する事業所等の集団感染防止対策のために「クラスター防止対策費交付金」、地域の対策のために「行政区等活動3密対策補助金」の交付事業を実施しています。また、多くの方がワクチン接種を受けていただくと、爆発的な感染は今後抑えられていくと考えられますので、皆様が安心して接種できるようワクチン接種の準備に向けて重点的に取り組みます。万が一爆発的な増加が発生した場合は、関係機関と密に連携を取り、状況を見極めながら対応します。(健康福祉部長)
新城	14	【安全・安心】 市民病院	市民病院について、奥三河の医療の中心として総合病院的な役割の復活が必要では。	新城市民病院は地域の皆さんが安心して受診できるよう患者さんやご家族にやさしく思いやりのある病院、特に高齢者にやさしい病院を目指しています。また、地域の基幹病院として安定的かつ継続的に医療の提供ができるよう健全経営の病院、新城市の地域包括ケアシステムの一翼を担い、医療機関との連携、医療と介護の連携、在宅医療の推進、多職種連携の推進等を行う地域の中核となる病院を目指しています。そのため、関係医療機関等への医師派遣依頼、民間医師紹介業の活用により医師や薬剤師・看護師等の医療スタッフの確保に努めています。(経営管理部長)
新城	15	【高齢化対策】 独居老人の安否確認	高齢化社会となり、日中独居老人や完全独居老人の安否が心配。(新型コロナに関する対策も)	民生委員から心配な方についての情報をいただき、ボランティア団体による月に1～2回の訪問につなげ見守りを行っています。また、地域で住民主体により開催されている集いの場(ミニデイ)を通して、独居で閉じこもりがちで心配な方についての情報を聞き取り、専門職による訪問につなげています。コロナ禍での対応として、見守りの訪問員や集いの場(ミニデイ)の各団体に対して、感染対策を講じた上での実施について依頼をいたしました。訪問の際は事前に電話連絡をして、面会の時間を短縮するなどの配慮や、通いの場での活動は、時間の短縮や人数の分散、会場での検温や手指消毒など、各団体が工夫しながら行っています。(健康福祉部長)
新城	16	【高齢化対策】 支援と見守り	近隣住民の関係が希薄化してきているが、このような状況の中、高齢者の支援と見守りを市としてどのように対応していくのか。	民生委員から心配な方についての情報をいただき、ボランティア団体による月に1～2回の訪問につなげ見守りを行っています。近隣住民の方々による見守りもとても重要となってきます。異変を感じたり、何か心配なことがあれば、地域包括支援センターや高齢者支援課まで情報をお寄せ頂き、支援につなげていけるよう努めていきます。(健康福祉部長)
新城	17	【高齢化対策】 見守り	最近老人の方が自分で救急車を呼んだり、昼間も外へ出なく家の中で一日中過ごしている人が多いです。何か声かけした方がいいのでしょうか。	地域で安心して暮らすことができるようにするため、近隣住民の方々による見守りはとても重要です。声かけをお願いするとともに、異変を感じたり、何か心配なことがあれば、地域包括支援センターや高齢者支援課まで情報をお願いいたします。支援につなげられるよう努めていきます。(健康福祉部長)
新城	18	【高齢化対策】 支援	高齢者生活支援を充実してほしい(ピンコロの会の活動のようなものが他にあるか)	現在、新城地区以外の自治区でも、ピンコロの会のような活動を考えているところがあると聞いています。また、高齢者支援課でもシルバー人材センターに委託し、生活支援のサービスを実施しています。民間でも介護保険に関係なく生活支援のサービスを行っているところもあります。(健康福祉部長)
新城	19	【高齢化対策】 メンタルケア	あと2～3年で団塊の世代(昭和22～24生)が一気に後期高齢者(75歳以上)に突入します。高齢者の格差が益々広がるようです。このコロナ禍において持病のある高齢者の“心のケア”をしていただきたい。引きこもり対策	保健センターでは、保健師等が面接や電話で健康に関することや健診後の結果相談などに随時対応しています。また、臨床心理士によるこころの健康相談も予約制で毎月開催しています。(健康福祉部長)
新城	20	【高齢化対策】 公共交通	新城で唯一のタクシー会社。高齢者の為に重要な足となっています。タクシー会社の継続支援をぜひお願いしたい。	本年3月末をもって新城交通(ツジムラタクシー)さんがタクシー事業から撤退されることとなっておりますが、新城市がタクシー空白地にならないよう、他の地域でタクシー事業を行っている交通事業者や国の機関と協議した結果、市内でタクシー事業を行っていただける見込みが立ちました。事業者の公表等につきましては、国からの事業認可がおり次第公表していく予定となっております。(総務部長)
新城	21	【高齢化対策】 高齢者の就労	2025年問題を考える中で、高齢者のニーズ(元気なので働きたい)と地域ニーズ(企業、農業、団体)を結びつける「コーディネーター」組織を充実してほしいのですが…。	市、商工会やシルバー人材センターなど、市内の関係団体で協働して令和元年度より新城市生涯現役促進地域連携協議会を立ち上げ、元気な55歳以上の方々の再就労、ボランティア参加など社会参画の支援を行っています。この協議会では、就労に向けた取組を実施したり、相談窓口を設置し各種相談に対応しています。協議会のさらなる周知を図るとともに、就労機会の確保のための取り組みを進めていきます。(産業振興部長)
新城	22	【高齢化対策】 行政手続き	質問ではなく提案です。豊橋市役所には死亡届後の各種手続きの案内や申請書作成の手伝いをしてくれる「おくやみコーナー」が市民課内に設置されてます。死亡届を出した後の手続きが一括で行うことができます。又その手続きを案内するおくやみハンドブックもあり、配布されています。私も実際利用し、遺族の負担軽減にもなり助かりましたので新城でも検討してほしいと思い書かせていただきました。	ご提案ありがとうございます。死亡届関連に限らず、来庁者(市民)の方が、手続きで、多くの課をたずねることは大変ご負担かと思えます。今後、各種申請のサポートも含め、市民サービス向上のためのひとつの方策として、検討をさせていただきます。(市民環境部長)

新城 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
新城	23	【高齢化対策】 体育館の利用	市民のスポーツ環境に関して アウトドアスポーツの場はあるが、インドアスポーツ愛好家(バレー、バスケ、卓球、バドミントン等のサークル)の活動の場としての体育館がなくなって久しく、小中学校体育館の開放もコロナにより中止となり活動の場を失っている。体育館再建、新城東高校体育館借用等、環境整備の予定はあるか。	体育館再建、新城東高校体育館借用等、環境整備の予定については現在のところ具体的な予定はありません。 体育館の再建につきましては、第2次新城市総合計画の中に、計画的なスポーツ施設の充実を図ることとしています。新体育館建設だけの議論ではなく、スポーツの拠点となる施設として調査研究をし整備計画を考えていく予定であります。 新城東高校体育館借用につきましては、今後検討してまいります。(教育部長)
新城	24	【高齢化対策】 社会の変化への対応	① 少子高齢化に伴い高齢者世帯・高齢独居世帯が増加しており、社会参加出来ずあるいは社会参加しない高齢者も増加し、健康寿命への影響も心配されます。昨年からのコロナウィルス感染症拡大が、これに輪をかけています。例えば、Zoom・ラインなどのIT環境の整備などによる在宅での社会参加・コンビニエントな交通システムなど、この状況への長期・短期的打開施策は具体的に策定されていますか。 ② 高齢者対策とは少しずれますが Withコロナ時代の地域活動の在り方のヒントをください。 コロナウィルス感染症拡大に伴い、今年度活動はほとんど中止・縮小に追い込まれました。来年度以降、感染症下での地域活動の在り方に悩むところですが、アドバイスをお願いします。 ③ 高齢者増加・働き方の変化にともない、行政区の役員選出に困難さが増大し、行政区を構成する組の役員も高齢化により、「地域力」が限界を迎えつつあります。日本全体の人口減にあって新城の人口増加施策は他地域とのシェア合戦になりますが、withコロナ時代に突入して、今までと違った人口増加策をお考えでしょうか。	①新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度は多くの行事が中止とり、地域の活動も制約を受けられてたと思います。また、人との接触をできるだけ避けるため、WEB会議や書面議決など会議の在り方も変わってきました。今後実施されるワクチン接種により、行動制限等が緩和されることも考えられますが、今現在の状況では3密を避けるなど皆さんのご協力をいただきながらの地域活動が続くことと思われま。令和3年度からは第2次新城市総合計画の中期計画の策定準備を進めてまいりますので、withコロナ、afterコロナを見据えた計画づくりを考えてまいります。特にwithコロナ時代については、地方移住や二地域居住など新たな生活スタイルを選択する人が出てきました。今あるものや取組にさらに磨きをかけ、魅力あるまちを目指さなければならないと考えています。(企画部長) ②地域活動については、行政区長にアンケートを実施したところ「感染対策として、マイク、スピーカー等を活用し、公民館を広く使用する、行事の分散開催として、組長会等の会議を2回に分散して行っている」など、各地区で工夫して地域活動している旨の回答をいただきました。地域活動をこれまでどおりの形式で実施できない状況が続いておりますが、地域の交流を維持するために、感染対策を講じながら実施していただきたいと思っております。(企画部長) ③本市の人口増加策に対する方針としましては、第2次新城市総合計画では日本全体が人口減少期に突入している中、本市の2030年の定住人口を41,000人と想定しています。定住人口の減少を少しでも抑え、地域やまちの賑わいを生み出し、持続可能な暮らしを支えていくため、『つながる市民(ひと)』としての交流人口を増やすよう目標を掲げています。(企画部長)
新城	25	【子育て支援】 支援	①子育て支援企業に市独自の特典を考えてほしい。 ②低所得の子育て家庭に市独自の支援を考えてほしい	①子育て世帯が安心して子育てと仕事の両立ができる、働きやすい職場環境の整備を進める企業を支援することは、社会全体で子育てしやすいまちづくりを進めるうえで大切なことだと考えますので、どのような施策が可能か関係部署と検討していきます。(健康福祉部長) ②こども園保育料については、既に3歳以上児及び3歳未満児市民税非課税世帯について無償としております。また、こども園給食費についても市独自施策として無償としております。令和3年度からは経済的負担を軽減するため3歳未満児の保育料を減額いたします。今後も低所得又はひとり親家庭等に必要な施策について検討をしていきます。(健康福祉部長)
新城	26	【子育て支援】 障がい者支援	当市の障害児支援は先人たちのおかげで(おひさま、レインボーハウス等)他市よりも一歩も二歩も先をいっているようです。ありがたいことです。私の孫はダウン症です。これからは不安です。市の支援体制、国、県等窓口紹介、先駆者等集い他	障がいのあるお子さんやご家族への支援内容等は、お子さんの状況(年齢、障がいの状況等)やご家族が抱える不安点などにより様々ですので、そのご家庭に応じた対応が必要だと考えています。福祉課において、障がいに関する制度、相談窓口の紹介等を行っておりますのでお問い合わせください。また、「お子さんのことで困った時の市内の相談窓口一覧」を配布していますので、どこに相談したら良いかわからない場合等においてご活用ください。(健康福祉部長)
新城	27	【子育て支援】 コロナ禍での生活	新型コロナ禍で友達との遊びを控える中、家の中での遊び(ゲーム等)が多くなり、社会的コミュニケーションを学習する場がなくなっている。将来必要となるであろう集団行動の中で覚える知識、経験が不足する	ご指摘のように、子どもの社会性を育てる機会が減少しており、何らかの対策が必要です。新城市では、学校がある日においては、外遊びや集団遊びを奨励し、休日でも学校開放を行い、子どもが外遊びができるようにしています。(教育部長)
新城	28	【子育て支援】 コロナ禍での生活	公園で安心して遊べるようになればいいですが…。外で人に会うとコロナになると子どもが言ったり、心配です。	新型コロナワクチンを多くの人が接種し、集団免疫が獲得できれば、安心して遊べる日が来ると思われま。心配かと思いますが、今は3密を避ける、マスクをする、こまめな手洗い、手指消毒等、基本的な感染症対策を実施し、感染が疑われる場合は、医療機関や新城保健所に相談する等の対応の継続をお願いいたします。新型コロナ感染症の一般的な相談や新型コロナ感染症に関わるこころの相談は保健センターでも実施しています。(健康福祉部長)
新城	29	【子育て支援】 公園整備	まちなかで気楽に立ち寄れる公園が少ない。ママ友が交流できるような公園の設置を考えてほしい	令和2年3月に策定した第2次新城市都市計画マスタープランの重点施策では、「世代問わず、交流の場となるオープンスペースづくり」を掲げており、公園等のオープンスペースづくりについて検討することとしています。その具体的な整備方針を示すものとして、「市の中心核のグランドデザイン2040」があり、現在、策定作業に取り組んでいます。この市の中心核のグランドデザイン2040は、令和3年度中に公表する予定です。(建設部長)
新城	30	【子育て支援】 子どもの遊び場	まちなかで子どもたちが遊べる場所はどこがあるか。またそこでどのような遊びができるか。	新城地域自治区内の市が管理している施設についてお答えします。市が管理する施設で子どもたちが遊べる場所としては、城北東部公園、田町川北公園、田町川南公園、二本松公園、桜淵公園があります。また、どのような遊びができるのかの質問につきましては、具体的な遊び方の例示はありませんが、施設利用者が互いに気持ちよく利用できるようモラルを守っていただくことが基本となります。また、施設ごとにルールがありますので、施設内に設置してある施設利用案内看板をご覧ください。(建設部長)

新城 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
新城	31	【にぎわい】 まちなか活性化のビジョン	まちなかを活性化させるため、市の具体的なビジョンは？(観光、商業)	まちなかの活性化を目的に開催されている軽トラ市の取り組みについて支援していきます。 また、新城地域自治区の方と、桜淵公園を取り込んだまちなか周遊コース等の造成に向け、意見交換を行っています。市民の他、市外の来訪者も利用していただけるようなコースを作成するべく、地域の方と話し合いを行っています。(産業振興部長)
新城	32	【にぎわい】 若い世代の定住	若い世代が就職したいと考える魅力のある職場が少ないため、若者が市から離れているように思える。若者が定住したいと思える魅力ある市にしてほしい。	高校生のための企業説明会や求人面接会など市内事業所の魅力の発信に努めます。(産業振興部長)
新城	33	【にぎわい】 若い世代の定住	若い世代が興味を持って余暇を過ごす施設がなく、都会へと流れている。	コロナ禍において、感染の影響が低いアウトドア活動が注目されています。本市の資源を活用し若者が地域で余暇を過ごす場所を提供できるか検討していきます。(産業振興部長) 文化会館や図書館は、老朽化に伴う改修等を予定しているため、これを機に、使いやすさや立ち寄りやすさの向上が図られるよう改修等の内容を検討していきます。また、文化会館を会場として開催するイベントについても若い世代向けの内容を盛り込むよう検討します。 スポーツ施設については、既存のスポーツ施設の種類や地域別の配置、市民ニーズなどを勘案してスポーツ施設の整備と配置の検討、市民が安全かつ快適に利用できるスポーツ施設の整備と充実を図り、市民が利用しやすい仕組みづくりを通して施設利用を促進します。(教育部長)
新城	34	【にぎわい】 若い世代の定住	高齢者は地元に残っても、若い世代が地元で定住しなければ「にぎわい」は戻らないと思う。	本市の2030年の定住人口を41,000人と想定しています。定住人口の減少を少しでも抑え、地域やまちの賑わいを生み出し、持続可能な暮らしを支えていくため、『つながる市民(ひと)』としての交流人口を増やすよう目標を掲げています。 新城市では若者政策にも取り組んでおり、次代を担う若者が学校や会社に限らず、地域活動、市政等のあらゆる場面で、より一層その能力を発揮して活躍することができる環境を整え、このまちに住みたいと思える魅力あるまちをつくりあげることで実現される「世代のリレーができるまちづくり」を目指しています。(企画部長)
新城	35	【にぎわい】 イベント	若者が主となり活躍できるイベントは、祭礼(お祭り)しか無いように思える。	マウンテンバイクやフォトゲイニングのコース開発を地域の方と若者が一体となって取り組むことができます。また、若者が主体となり、自ら企画・運営、実行するイベントを開催する際は、出来る支援やアドバイスがあるか検討していきます。(産業振興部長) 新城市では、若者世代の柔軟で斬新な発想によるまちの活性化や賑わいの創出に関する活動を支援するための若者チャレンジ補助金制度を若者政策の1つとして行っています。 平成27年度から22の若者主催によるイベントや行事へ支援を行っており、今後も継続していきます。(企画部長)
新城	36	【にぎわい】 イベント	夜店等の時期に街通りで「市民総おどり」大会の開催は如何か？(参加:各町内、企業、団体、市職員等)	具体的なイベントの提案がありましたら、主催者等と調整させていただければと考えます。(企画部長)
新城	37	【にぎわい】 観光説明看板設置	平成30年度新城地域自治区予算事業「しんしろまちなか散策マップ」しんしろ城下町の会が作成したこの地域の名所旧跡等大変素晴らしいマップの所在地に説明看板の設置実現に向け動いているところですが、立割行政打破にて商工政策課、観光課、まちづくり推進課、教育委員会等できる限りの協力を得たい。官民一体の協力体制はできないものか。またしろあと資料館は今後どうなる？	しろあと資料館については、耐震性の問題から安全な状態とは言えないため、今後は機能移転及び建物の存続について関係の方々と検討を行ってまいります。(総務部長) 史跡などの設置する案内看板について、依頼があれば学術的に間違いがないかなどのチェックをいたしますので、積極的にご活用ください。また、しろあと資料館については個別管理計画の対象施設となっておりますので、市の全体計画の中で、今後の方針を検討していきます。(教育部長)
新城	38	公共交通について	新城から名古屋に行っているバスは今後何年も続けるのですか？巷の話ではバスに乗っている人は良くて数人時には0人という時もあるようです。このような状態では経費のムダではないか。ちなみに私も利用することは無いと思います。	新型コロナウイルス感染拡大のため、令和2年度は4月20日から4月28日まで平日も2便(土休日ダイヤ)で運行し、4月29日から6月21日までは全便運休とするなど、乗降客が令和元年度に比べて少なくなっているのが現状です。しかし、通勤や通学で利用する方や名古屋東部の大学病院等の医療機関へ通院する方、名古屋圏から新城へお見えになる方の貴重な交通機関になっているとともに、大雨等の災害時のJR飯田線長期運休の際には代替輸送手段としての役割も果たしていることから、その必要性を認識しています。引き続き、利用促進を図りつつ、利用者の状況を踏まえた運行の見直しについても検討していきます。(総務部長)